



広報

まつだい

2004
1

No. 530
平成16年1月15日



出た！
温泉

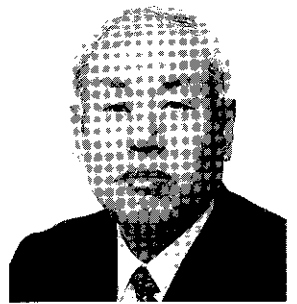
昨年6月から掘削をはじめた芝峠温泉第2号井は11月下旬、地下約1,400m地点に達し、現在温泉が自噴している。油分を含んだ温泉の臭いと湯気が充ちこめる中、関谷町長は温泉の温かさを実感した。詳しい温泉成分については、現在調査中である。

主な内容

- 年頭のあいさつ.....②～③
- 室野第一園場整備物語.....④～⑤
- 合併任意協議会.....⑥～⑦
- 十日町地域高速通信体系構想2.....⑧～⑨
- 東京発／松代の自然ほか.....⑩～⑪
- 雪と妻有の詩まつり／第17回越後まつだい冬の陣ほか.....⑫～⑬
- 文芸／お知らせ／町の行事予定ほか.....⑭～⑮

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1
TEL 02559-7-2220
FAX 02559-7-2526・7-2300
URL 松代町 <http://www.town.matsudai.niigata.jp/>
松代町観光協会 <http://www.echigo-matsudai.com/>



年頭のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様、そして東京松代会の皆様にはお元気に新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

町政各般にわたり皆様のご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げますと共に皆様にとりまして本年が健康で明るく希望に満ちた年でありますようお願い申し上げます。

今年は甲申の年ですが、きのえさる年の縁起の話では、成熟して固まりつつもそこに新たな展開の種子を宿している状態といわれているそうです。今の日本の閉塞状態ともいわれる状況から、新しい芽が出て日本再生を期する年になってほしいと願うものであります。

昨年は、冷夏ということで稲作は10年ぶりの不作の年になってしまいました。そのうえ、刈り取り期には雨ばかり降り、田んぼは柔らかに機械が思うように使えず農家の皆さんは本当に難渋されました。やはり山間地の農業経営は暗渠排水などの基盤整備がされていないため困難が伴います。

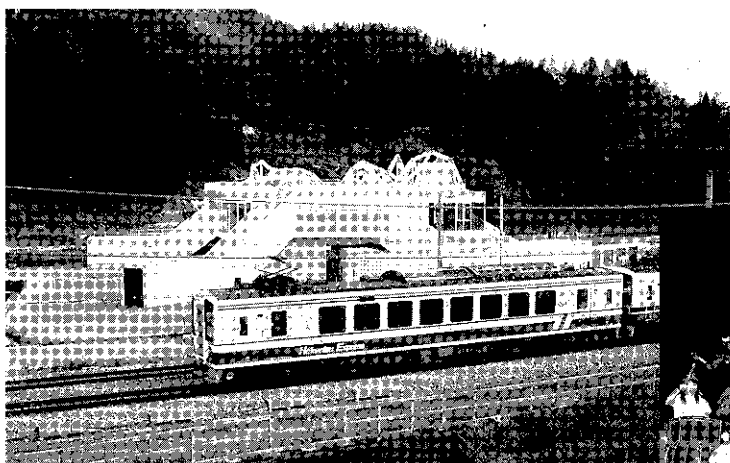
また、越後妻有地域で「第2回大地の芸術祭」が7月20日から9月7日までの50日間にわたって開催されました。当町にも町外から六万人を超える人々が、アート作品の鑑賞や「まつだい雪国農耕文化村センター」へ訪れていただきました。地域の活性化に果たすアートの役割が注目されました。

雪国農耕文化村センターを核とし、町内に設置されたアート作品を町民の皆様と共に大切に守り、これを観光振興や都市交流に活用することにより地域の活性化に結び付けたいと思っています。

さて今年は、松代町は大きな節目を迎える年となります。それは市町村合併という大きな課題に対処し、町の将来を決める重要な年であります。「十日町広域圏合併任意協議会」において昨年一年をかけて会議を重ね800項目を超える事務事業の調整を行なって終了いたしました。各市町村ともこれまで独自の自治体として特色ある行政運営を行ってきましたので、その五市町村がこれから一つになって行こうというものですから、調整にもいろいろ困難なことがありましたが、一応調整を終了できました。

当町では、今までの協議項目のうち、合併後が今までとどう変わるのかを検証してみましたが、合併によって今より良くなる（メリット）と現状と変わらないが全体的におよそ90%以上あり、今より後退すると思われる（デメリット）のものは10%以下であると推定されます。法定協議会への加入にあたっては、このようなことを町民の皆様に説明し、合併へのご理解を得ていきたいと考えています。

合併後の松代町が新市の中で期待される「交流結節拠点」や「体験交流の場」としての役割を担っていくため、そして町民生活の向上のためにも、今の町総合計画にある事業のうち早期に実施すべき事業を本年度計画しています。



まつだい雪国農耕文化村センターとほくほく線



第2回大地の芸術祭閉会式 松茸太鼓と鬼太鼓座の夢の共演

「福祉の充実による住みよい町を目指して」

当町の高齢化率は、県内で第4位と高いため、これまで特養「ほくほくの里」など福祉施設の整備を図り、お年寄りが安心して生活できる地域づくりを進めてまいりましたが、更に一人暮らしの世帯が増えているところから要望の多い「高齢者生活支援ハウス」（老人アパート）を建設したいということに国に要望をしているところであります。合わせて障害者の自立を促進するため「しづみの家」を建て替えることも計画しています。これら町の福祉施設の全てを町社会福祉協議会に運営を委託しましたので、一層の福祉の充実を図り住みよい町をめざしたいと考えています。

「地域資源を活かした交流体験の推進」

当町には、棚田・ブナ林・歴史資源・芝峠温泉・アート作品などの他に交通、観光の拠点となる「まつだい駅」を中心にふるさと会館・まつだい雪国農耕文化村センターなどの地域資源があります。これらを活用していま注目を集めている都市の子供達の「田舎体験修学旅行」を始とする都市との交流体験事業を推進したいと思っています。そのために、芝峠温泉の施設を充実し、受け皿となる人材の育成や交流のある早稲田大学をはじめ東京松代会・世田谷区・八王子市との交流を更にすめ、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

「生活基盤の整備によるまちづくり」

都市交流を生かしたまちづくりをすすめる当町にとっては、国道の改良の整備と集落を結ぶ町道、集落内道路の改良など交通体系の整備は重要であり、この促進に努めます。平成8年度から始まった下水道事業も本年度で完了となり、各家庭への繋ぎこみをすすめていただき快適な環境の実現に努めて頂きたいと思ひます。

千年金鉢地内に進めていました「千年ニュータウン宅地造成」は本年度第一次区画として14区画が完成し、売り出される見込みになりました。以後第二次として20区画、第三次として9区画が計画されており、若者定住のため、また町内移転住宅の宅地としての活用が期待されます。

いま平成の合併が進められていますが、当町は昭和の合併により松代村と山平村が合併し松代町となったのが昭和29年10月1日であります。本年が町制施行50周年にあたります。奇しくもこの節目の年に新たな合併に向かっていますが、この記念すべき本年に「町制施行50周年記念事業」を実施したいと計画しています。この豪雪地にあって地域の発展に尽くされた多くの先人のご尽力に感謝し、ふるさと松代町の将来を考える機会にしたいと思ひています。

どうか、皆様方の一層の御指導と御協力を切にお願い申し上げます。

松代町長

関谷達治



東京松代会「ホテル観賞とふるさと体験ツアー」

松代高校前ポケットパーク「創作の庭（土屋公雄：作）」植栽作業

松代町近代農業の礎

室野第一圃場整備物語

（圃場整備…不整形に散在する田んぼを数枚の長四角にまとめ、農業がしやすいようにすること）

棚田には、自然と人々が共存する風景に美しさを感じるが、この圃場整備地はまさに人によるところの造形の美でもある。室野集落の西端、美濃輪地内。国道と平衡に走る濁川をはさんで、南北の山間にきれいな直線で囲まれた田んぼが階段状に広がる。

30年前、ここに中山間地農業の将来を賭けた一大プロジェクトが生まれた。

岐路に立つ

中山間地農業

米余り、米価の下落といった折り重なる減反政策の余波が、小規模経営の農家に諦念ムードを漂わせていた昭和40年代後半。転出や高齢化といったよんどころない農村の事情が、山場の農業の将来に危機感を募らせていた。よくならない専門農家の暮らしに「子供には同じ道を歩かせられない」と離農を決意した者もいた。「拡げるか。止めるか」岐路に立つ農家も多かった。

*

昭和48年春、室野の美濃輪地域周辺での道普請の時だった。棚田を見下ろす高台で一服しながら、地元で農業を営む佐藤達行さん（当時33歳）は言った。「これからの百姓は機械化しなけりや生き残らんね」作業を共にしていた人たちは心動いた。その後のほたらきかけで間もなく、県や町の担当と共に賛同する農家19戸が集まって、計画が練られた。「将来を考えれば、やはり圃場整備は必要だ」全員の意見は一致した。

国の補助を得るには50畓の基準面積が必要だ。だが、集めても10畓そこそここの中山間地には大きすぎる広さだ。農家たちは度重なる国や県への陳情の末、中山間地特例が布かれた。棚田農業を守る強い意志が通った。

動き出す希望の計画

翌49年9月、設計のための測量が始まった。佐藤さんたちは、調査に訪れた土地改良事務所の技師を現地に案内した。そして、小さな田が連なる山を見て技師は言った「どこを圃場整備するんですか」これまでの圃場整備は平坦な土地で行うのが一般的で、傾斜のきつい農地での整備は想定外だった。設計も複雑化した。そして、翌50年から工事は始まった。工事の進捗にあわせ、昭和51年に室野生産組合を立ち上げた。組合長には佐藤達行さんを選んだ。みんなが地域の農業の将来を佐藤さんに託した。

翌年の52年には、農業機械の導入を決めた。トラクター4台、ほかに田植え機やコンバインなど合わせ、16台を入れた。文字どおり、機械化への準備は整った。昭和53年10月、工事完了。ものさしで引いたようにまっすぐな畔でつながれた長四角の田が、斜面に沿って規則正しく並んだ。総面積10・8畓。松代町での国営第一号圃場整備田の完成である。そして、翌54年から念願の整形田での作付けが始まった。これまでの手作業に比べ、機械作業はこのほか順調だった。農家は農業の近代化を実感した。



傾斜地を均しての工事が始まった

襲いくる自然の沙汰

しかし、喜びも束の間だった。その年の刈り取りも終わり、一息つくとも間もなく秋の長雨に緩んだ地盤がずれ始めた。一夜にして整形田は、山山の斜面と化した。すべった面積約2畝。

地すべり地帯に手をつけ、後悔の念が先立ち、田がないのに多額の借金だけが残る不安がよぎった。無情な自然の沙汰に、農家たちはたじろいだ。

広がる被害にいたたまれず、土木事務所に災害復旧の要望に掛け合ったが、「転作補償金で補修すれば」くらの回答しか得られず、受け入れられなかった。

苦難の模索・

はねのける力

原形をとどめない田んぼの姿を見るのは忍びなかった。しかし、無理を承知ではじめた圃場整備の気概が百姓魂を掻きたてた。「農地は食物を作るところだ。このままにしておくわけにはいかない」。「水が張れないなら、水のいらぬ作物を作ればいいじゃないか」と、大豆作りに希望をつないだ。賛同した組合員、六名。このころ、大豆栽培はこの地域ではあまり量産実績がなかった。しかも、米に比べて市場への普及度はきわめて低く、その栽培も品質の確保と収量増産にむけた苦

難の模索が続いた。そして、昭和55年から大豆作りは始まった。

慣れない作物栽培に、農家たちは精を出した。夏の暑い盛り、お盆にも草取り

大豆づくりは8年続いた



慣れない作物栽培に、農家たちは精を出した。夏の暑い盛り、お盆にも草取り

をした。すべて起伏を成した畑は、機械による農作業を阻んだ。

それから八年後の昭和62年。ようやく、この地域にも地すべり対策事業の手がほどこされた。七箇所に設けられた直径三メートルの集水井。四方に張り巡らされた用水路。地すべり地域の外敵である「水」の対策に万全が期された。

山地農業のパイオニア

地すべりは止まった。再び全域で大きな機械による近代的な農業が始まった。

不可能と思われていた、棚田の圃場整備が完成した。その後、町のあちこちでも圃場整備が始められた。この室野第一圃場整備が町の農業に一光を射した。

*

平成11年、24年間におよび借入金の返済が完了した。重い荷を降ろすように、農家の家族全員が喜んだ。返済完了を記念して、国道沿いにある揚水小屋の壁面にステンレス製の銘板が



現在の美濃輪地区。国道と濁川を中央に、山間を圃場整備田が広がる

掲げられた。「棚田圃場整備発祥の地」。当時会計として尽力した佐藤正直さん（埼玉県在住）が銘板にこの揮毫を刻んだ。銘板は、棚田の圃場整備に取組んだ農家の気概の証として誇らしげに美田を見守っている。

「ここには大切なふるさとがある。守らなければならぬ農業がある。30年前の熱意は今も変わらない。そして、未来のため、子孫のために」これからも田んぼ

を愛し一生懸命農業をやっていくつもりです。誓いを新たにす農家たちだった。



大型機械で刈り取りをする佐藤達行さん

十日町広域圏 合併任意協議会

第8回合併任意協議会（9月2日開催）で決定された新市将来構

想は「雪・自然・農が織りなす温もりと躍動の大地（まち）」を新市の将来像に掲げ、六つの新市の基本目標と、分野別の施策などが示されている。また、広域合併の効果を生かすため、各市町村のもつ資源を活用した、地域づくりの方針をうち出している。

これを受けて、引き続き新市将来構想検討委員会（委員長 高津富士男）に新市建設計画（素案）策定の諮問がなされ、第12回任意協議会において計画の答申と長期財政見通しについて報告された。

ことば

三位一体改革（さんみいつたいかいかく）…宗教の教義で、神の示す三つの位格（いかく）の本質は一つであることをいう。これになぞり、小泉首相が構造改革の一つとして進める政策。①国からの補助金削減②国から地方への税源の一部移譲③地方交付税の見直し。この3つを同時に進めることで、国と地方の役割の分担を見直す。

I 新市建設計画の概要

新市建設計画の位置付け

新市建設計画（建設計画）は、将来構想をもとに、住民に合併後の新市の姿を示すもので、財政計画に裏づけされた新市建設の根幹となるべき事業が挙げられる。

特に、合併特例債を財源とする事業については、新市建設計画に盛り込む必要があることから、将来構想に比べてより具体的に将来を見据えた計画となる。なお、合併後は新市の市長が「新市総合計画」を定めることとなり、この建設計画はそれまでのつなぎとなる。

新市建設計画の内容

建設計画には次のことが盛り込まれる。

- ① 将来構想に基づく新市建設の基本方針
- ② 新市建設の根幹となるべき事業に関する事項
- ③ 公共施設の統合整備に関する事項
- ④ 新市の財政計画

新市建設計画（素案）の要目

	新市の基本目標	分野別の施策	取り組みが必要な主な事業（※）
1	地域に誇りと愛着をもつ創造性豊かな人づくり	・学校教育の充実 ・生涯学習の推進 ・文化、スポーツ活動の振興 	●学力向上推進事業●障害児教育推進●いじめ不登校対策●小中学校の学区再編●小中学校の改築●芸術文化村整備●文化・体育施設整備事業 など
2	雪国文化や地域資源を活かした活力ある産業づくり	・農林業の振興 ・商工業の振興 ・新しい産業の創出 	●農林業基盤整備●農村環境整備●地産地消推進●商工業経営基盤強化●地域資源活用産業創出支援●企業誘致・起業支援推進●産学官連携研究支援事業 など
3	緑豊かな自然環境や雪国の風土と調和した快適な生活環境づくり	・環境保全、水資源対策 ・交通、通信網の整備 ・克雪、利雪対策 ・都市的生活環境の充実 など	●自然環境保全事業●幹線道路網整備●生活交通確保推進●情報通信網整備●除雪利雪体制整備●上下水道整備●ごみ焼却施設整備●住宅整備事業 など
4	子どもからお年寄りまで安心・安全・元気に暮らせる社会づくり	・保健、医療の充実 ・社会福祉の充実 ・交通安全、防犯対策 ・消防、防災対策 	●救急医療センター建設事業●子育て支援事業●高齢者福祉施設整備●障害者グループホーム建設支援●消防・防災施設整備事業 など
5	人・自然・産業とふれあえる、もてなしの心で迎える体験交流づくり	・交流活動の推進 ・地域特性や資源を活かした観光リゾートの振興 	●交流イベント推進事業●観光施設整備●体験交流施設整備●観光交流支援事業 など
6	公・民の協働と相互扶助の精神に基づいた、行財政運営のしくみづくり	・市民活動の支援 ・新たな地域運営システムの構築 ・行財政の効率化・自立化 ・情報公開の推進	●市民活動支援事業●市民活動拠点施設整備●地域自治活動支援事業●地域振興基金整備事業●庁舎建設・支所等改修事業 など

※「取り組みが必要な主な事業」には、新市の建設に将来必要と見込まれる事業があげられていて、合併特例債を引き充てる事業も含まれる。

新市の将来像

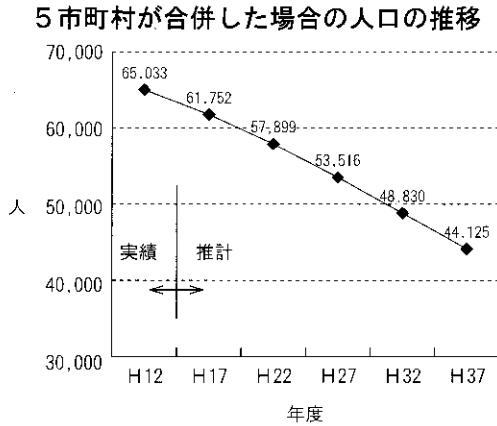
雪・自然・農が織りなす温もりと躍動の大地（まち）

Ⅱ新市の長期財政の見通し

第12回合併任意協議会で、新市の長期の財政見通しが報告された。

将来の人口を推計し、それにもなつて生じる住民税や交付税などの歳入の減収と、市町村合併による経費（歳出）の削減額を推計し、将来にわたつて財源不足にならずに財政運営を行えるかどうか試算している。その結果、合併後各年において2億円から12億円程度の財源余裕が発生する見込みとなっている。

ただし、これらの歳入および歳出の推計は現在の制度などを基準に試算しているため、国で論議されている「三位一体改革」（6ページ）とこの行方によっては推計額が変わってくることになる。



歳入の見込み

（表1）

歳入の見込みについては、住民税所得割を納付する世代の生産年齢人口が4割も減少するため住民税が減収見込みとなっている。地方譲与税も人口減少の影響を受けて減収になると予想している。また、普通交付税においても人口の減少などの影響を受けて27億円も交付額が減少するものと見込んでおり、歳入のうち、これら主要3税の減少額の合計は36億円を見込んでいる。

（表1）歳入の減収見込み

単位：億円

項 目	H14決算額	H17見込み	H32見込み	対H14減収額
市 税	64	64	59	△5
地方譲与税等	14	13	10	△4
普通交付税	120	120	93	△27
※その他の収入	146	153	116	△30
合 計 ①	344	350	278	△66

※「その他の収入」には、財産収入や各施設使用料のほか繰越金と地方債などが含まれる。繰越金はH14決算額の12億円の約半額を見込んでいる。地方債は、合併後15年日以降から投資的経費が6割まで減少するため、それに連動して減収となる。この二項目だけで約19億円の減収となる。

歳出の見込み

（表2）

歳出の見込みについては、各性質別の歳出についてどれだけ削減できるか推計している。人件費は特別職や議員、また一般職員などの減少にともない、人件費だけで約24億円の経費が削減できる見込みとなっている（表3）。また、物件費や補助費などは人口一人当りの平均決算額を基に計算しているため、人口が減少するに従い経費が削減できることになる。

（表2）歳出の削減見込み

単位：億円

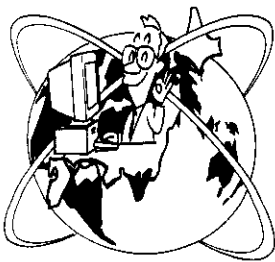
項 目	H14決算額	H17見込み	H32見込み	対H14削減額
人 件 費	61	56	37	△24
物 件 費	36	39	26	△10
補 助 費 等	54	40	31	△23
繰 出 金	32	32	34	2
投資的経費	52	76	47	△5
そ の 他	96	105	101	5
合 計 ②	331	348	276	△55
歳入歳出差引額①－②	13	2	2	

補助費等の23億円の削減額には、H14決算における里創プランステージ整備分の10億円の皆減分と、十日町衛生施設組合の施設にかかる元利償還負担金の約4億円が新市の公債費に振り返られる分との合わせて14億円の削減も含まれている。

（表3）人件費における人数と経費の削減見込み

内 訳	H14実績(人)	H32見込み(人)	削減数(人)	削減額(百万円)
特 別 職	18	4	△14	△148
議 会 議 員	76	30	△46	△113
各 種 委 員 等	2,774	2,177	△597	△26
普通会計一般職員	711	447	△264	(退職手当加を計算) △2,099
合 計	3,579	2,658	△921	△2,386

介護保険会計への繰出金の増加を2億円と見込んでいる。投資的な経費については、過去5年間の平均執行額である74億円を合併後10年間見込み、その後は合併特例債を活用できないため、45億円を見込んでいる。財源となる合併特例債は10年間で合計200億円見込んでおり、限度額である247億円の約8割を活用することとしている。また、合併後のソフト事業に充当できる基金造成は限度額いっぱい30億円を見込んでいる。



便利で安心・安全な地域づくりを目指して

動き出す「十日町地域 高速通信体系整備構想」(2)

—せまりくる情報化社会への対応—

現在、検討を進めている「十日町地域高速通信体系整備構想」。今回は、情報通信社会の現状についてお知らせしました。今回は、十日町地域で進める具体的な方針やしきみについてお知らせします。

「IT革命」(*)のひとつの大きな柱である高速通信ネットワーク(情報通信基盤**)とは、電気や光といった信号が通るため、容量の大きいケーブルを公共施設や企業、そして各家庭まで広く敷設することです。つまり、交通量が多い道路を砂利道から舗装路へ、そして高速道路に改良していく状態を想像していただけるとわかりやすいでしょう。

都市部では、この高速通信ネットワークの整備が進み、これらを活用した新たなサービスが始まっています。

地域情報化の事業主体

高速通信ネットワークの整備は、情報を即時に伝えることで地理的な距離感の不利性を解消し、産業振興や地域の活性化に向けて大きな役割を果たすものです。山間部が多い私たちの地域は、技術的な問題と採算性の問題から、これらの開発に大手民間業者の参入が困難なため、ネットワークをつなぐ環境が十分に整備されないままになっています。こうした条件の不利な地域では、情報通信基盤を自

治体が整備する必要性があります。そこで現在検討を進めている「十日町地域高速通信体系整備構想」は、十日町地域広域事務組合を中心とした六市町村が、国の補助のもとに共同で整備を進めようというものです。その主な理由には、次のことがあげられます。

- ① 地域情報化は合併問題に関わらず6市町村に共通の課題であること
- ② 広域的に整備したほうが制度面で有利であること
- ③ 建設や運営費の面でも規模の拡大効果があること

これまでの検討経緯と今後の情報化整備方針

平成14年12月に六市町村、七商工団体、二農協によって高速通信体系検討会議が開催されました。会議では、一刻も早く各家庭までのネットワーク整備の推進に取り組むことが全会一致で決定しました。

そこで、第一段階として平成16年度に、十日町圏域の全ての公共機関をネットワークで結び、地域情報化の拠点となる「地域イント

ラネット」(*)基盤施設整備事業」を実施することになりました。

第二段階として、国家戦略である「e-Japan構想」の最終年度にあたる平成17年度までを目標に各公共機関のネットワークを各家庭まで延伸する「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業」を実施し、全地域・全家庭までの情報化を図ることとしました。

〈用語解説〉

※1 IT (Information Technology) 略) 革命

情報技術革命。情報化社会を象徴する言葉。情報化社会とは、情報を重要な資源として、その価値を中心に社会・経済が発展していく社会をいう。

※2 情報通信基盤

高度情報社会の実現に必要な、大容量光ファイバー通信ネットワーク(網の目のような組織)など、情報通信を支える基盤となるハードウェアやソフトウェア。

※3 イントラネット

インターネット技術を使い、官公庁や企業、特定の組織内のみで利用されるネットワークシステム。

※4 CATV (ケーブルテレビ) (=Community Antenna Television) 略)

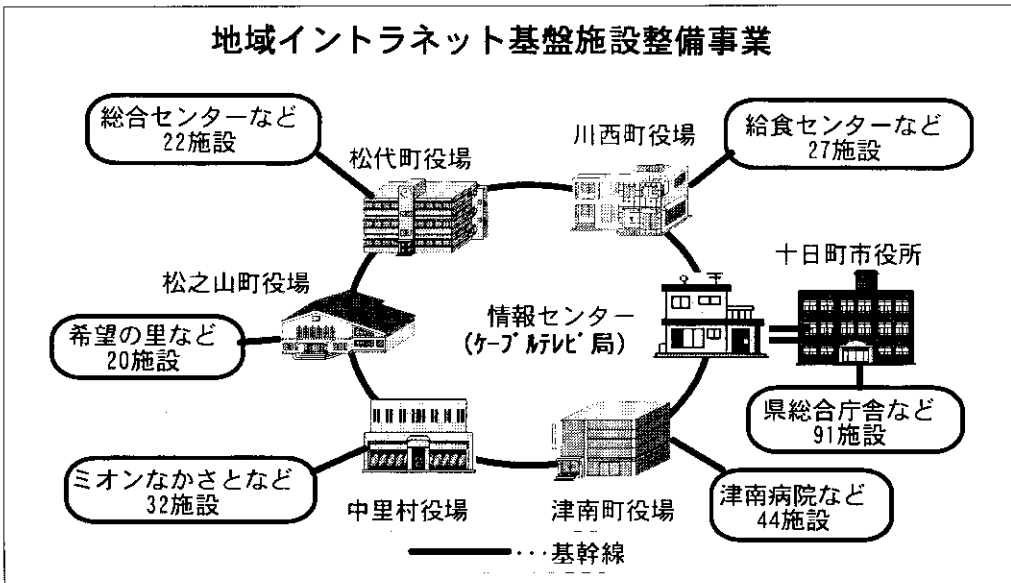
テレビの有線放送サービス。山間部など、テレビの難視聴対策として開発されたが、近年では多チャンネル放送や電話、高速インターネット接続などのサービスを展開している、都市部などでも加入者が増えている。

平成16年度実施予定

公共施設のネットワーク整備 (地域イントラネット基盤施設整備事業)

地域イントラネット基盤施設整備では、まず各六市町村の庁舎を基幹線で環状に結びます。これは、どこ

か一箇所が雪崩などで断線しても反対側からネットワークがつながり業務に支障をきたさないための設計です。そして、



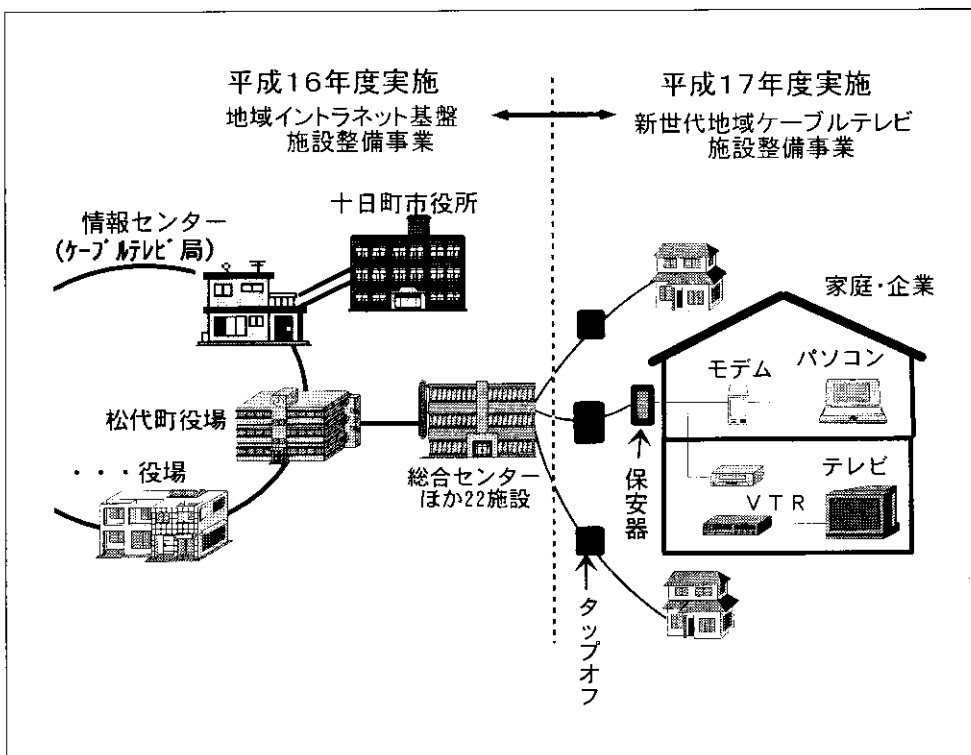
各市町村役場から圏域内の全ての小中学校、公民館、保育所や、福祉施設・観光施設などを結びます。

平成17年度実施予定

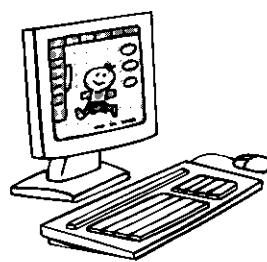
各家庭までのネットワーク整備 (新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業)

地域イントラネット基盤施設整備事業で敷設したネットワークを、各家庭までCATV(ケーブルテレビ※4)回線でつなげます。

CATVをつなげることにより、テレビのデジタル地上波放送にも対応できることはもちろん、インターネットへの接続や地域に密



着した様々な情報をいち早く受けることが可能になります。また、屋外アンテナが不要になるので雪害などの心配もありません。



各家庭までネットワークを整備する「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業」を実施するにあたり、住民皆さんの意見を反映したネットワークビジョンを作成します。そのため、1月末に抽出によるアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

次回は、十日町地域高速通信体系が、どのようなことに利用できるのか、お知らせします。



松代町並びに東京松代会の皆様 明けましておめでと〜うございます

東京松代会副会長・幹事長 井上 正美

川崎市在住
(寺田・沢上)

長就任のご挨拶と致します。

謹賀新年

最高顧問 関谷徳次郎

会長 若井 謙一

副会長(松代) 笠原 清

副会長(峰方) 若井 恒雄

副会長(伊沢) 柳 政直

副会長(山平) 井上 正美

幹事長 井上 正美

副会長(奴奈川) 小堺 朝毅

副幹事長 石野 士

総務委員長 米持 雅朗

事業委員長 柳 克治

財務委員長 柳 信輔

組織委員長 小堺 一男

広報委員長 大西 武久

松代町並びに東京松代会の皆様、明けましておめでとうございませう。いつもはお世話様になり、有難く厚く御礼申し上げます。

この度は凶らずも東京松代会幹事長という大役を拝命しました。大変名譽なことであると思うと共にその責任の重さを痛感しています。宜しくご指導くださるようお願い申し上げます。

さて、今年は松代町にとりましては、合併問題を総括される大変重要な時であります。色々と難しい問題も多々あるうかと存じますが、将来の住みよい町づくりのため十分にご検討されるよう祈念申し上げます。

東京松代会は例年通り

・新年総会(1月18日)

・越後松代冬の陣

(3月13・14日)

・バスツアー(10月17日)の行事に加え、お子さんやお孫さんたちに大変好評な・松代スキーツアー(2月7・8日)・ホテル観賞(6月26・27日)を今年も実施することになっています。

これらの行事に参加することで会員相互の親睦を図ることになります。冬の陣やスキーツアー、ホテル観賞で松代を訪問することは故郷発展への貢献にもなります。会員相互の親睦と故郷発展への寄与は東京松代会の目的であります。

一年の計は元旦にありではありませんが、会員皆様の今年の年間予定にこれらの行事を入れていただき、積極的にご参加くださるよう、お願い申し上げます、幹事

募 集

熱き激しき冬祭りあり

越後まつだい冬の陣

3月13日(土)~14日(日)

越後まつだい冬の陣、雪祭りの大イベントに参加しましょう。お申し込みは下記の事業委員までご連絡ください。

地区	役 員	電話番号
松 代	柳 克治	048-478-6503
松 代	片山 徳重	045-501-5984
峰 方	金井 高一	03-3687-9241
峰 方	若井 友吉	0489-53-0446
伊 沢	佐藤 正則	03-3382-0211
山 平	小堺 貞子	03-3921-8462
山 平	丹波トモエ	03-3976-9561
奴奈川	山岸 茂勝	047-344-4311

第2回ふるさとスキー体験のご案内

昨年ご好評をいただいた“ふるさと松代町”でのスキー体験ツアーを今年も行います。ベテラン講師陣による親切指導で、はじめてスキーを履くお子さんも安心して滑れます。この機会に、お子さんお孫さんと一緒に楽しい冬を体験しませんか。

日 時：2月7日(土)~8日(日)

体験場所：松代ファミリースキー場

宿泊場所：松代町青少年研修センター

参加費用：大人 4,000円

子供 9,000円

お申し込みは、先着50名まで。下記の実行委員へご連絡ください。

地区	役 員	電話番号
松 代	柳 克治	048-478-6503
峰 方	小野島 營	0426-77-3428
伊 沢	柳 政直	0471-39-2263
山 平	菅井 正博	048-584-5735
奴奈川	山岸 茂勝	047-344-4311
奴奈川	石野 士	048-832-7288

近くの山の中に、一軒の小屋があります。元は民家があった所で、下のムラに転居した跡に造られた作業場と物置を兼ねたものです。

その軒下に巨大なカンバチが巣をかけていましたが、キノコ採りなどで側を通っても盛んに働き蜂が出入りしているので危険で近寄れません。下から見上げるとスクランブル（緊急出撃）態勢の蜂たちが虎視眈々と睨んでいますから恐ろしくて近寄れません。

彼らも12月中旬ともなると、死んだのか寒さで動けなくなつたのか、出入りする姿が見られなくなつたのを幸い、近くに立て掛けてある鉄梯子を利用して鉋と鎌を使って採取することに成功しました。あまりにも大きいので落



下した時に衝撃で壊れるかと案じましたが、下が残雪のクッションで、完全に近い形で収穫できました。直径が約67センチ、周囲が約167センチ、重さが約2・75キログラムもありました。

これだけの要塞を築くには、かなりの兵隊（働き蜂）がいたわけでしょうが、この寒さですべて消えたのでしょうか。

カンバチというのは方言名で、和名はキイロスズメバチといいますが、どう猛さで知られるスズメバチ（オオカンバチ）よりは小型とはいえ、堅い鎧に鋭い針をもつて、襲われれば命道具です。一匹の女王蜂（母蜂）が一人で巣造りを始めて、次々と働き蜂や次の女王蜂候補、雄蜂などを生み分けて、このような巨大な要塞を築くのにかなりの資材とエネルギーが必要なのです。巣の材料は木の皮などを噛み碎き、唾液で溶かしてパルプ状にして塗り固める方法で、他の蜂類と同じですが、スズメバチやクロスズメバチ（ジバチ）は地下に造るのに対し、コガタスズメバチとキイロスズメバチは軒下や崖、橋の下など雨のかからない場所を選んで巣造りをします。

（文と写真 高橋八十八）

今年も一年 火の用心

1月4日 松代町消防団出初式



点検報告をする市川嘉吉松代町消防団長



色水防水（カラーでお見せできないのが残念）

もしもの火災に備え、近くにある消火栓や
消防器具周辺の除雪に万全を！

晴天のこの日、多くの観覧者が見守るなか、松代活性化センター前で放水訓練が行われた。赤、青、緑に着色された水が、勢いよく弧を描くように放水されて、イベントに彩りを添えた。

雪と妻有の詩まつり

IN農舞台 COME CONNEXION

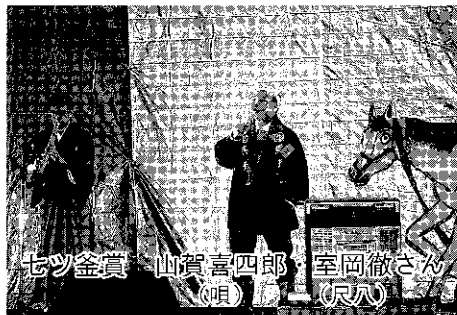
主催：まつだい農舞台 共催：松代町

2003年妻有を締めくくる詩の祭典、越後妻有版紅白歌合戦が12月29日、まつだい雪国農耕文化村センターで行われた。ステージでは、十日町広域圏から集まった20組が「雪国」をテーマに選んだ自慢の曲を熱唱した。

また、生涯学習センター

(清水)で合宿中の「鬼太鼓座」の特別参加もあり、心身揺さぶる迫力あるパフォーマンスと会場内の屋台料理で、詰めかけた約200人の観衆は酔いしれた。結果は、209票対203票で白組みが勝利した。各賞の受賞は次のとおり。

最優秀賞 久保田達也さん(松之山町)
ドラゴン賞(優秀賞) 山岸あい子さん(松代町)
リア王賞 けやきの会(松代町)
キヨロロ賞 柳 フエさん(松代町)
キナーレ賞 永井 泰さん(松代町)
ホワイトプロジェクト賞 鈴木 広さん(十日町市)
七ツ金賞 山賀喜四郎・室岡 徹さん(松代町)
(各賞は、十日町広域圏内の芸術祭作品などにちなんで設けられた)



七ツ金賞 山賀喜四郎・室岡徹さん(松代町)



リア王賞 けやきの会のみなさん



ドラゴン賞 山岸あい子さん



キヨロロ賞 柳 フエさん



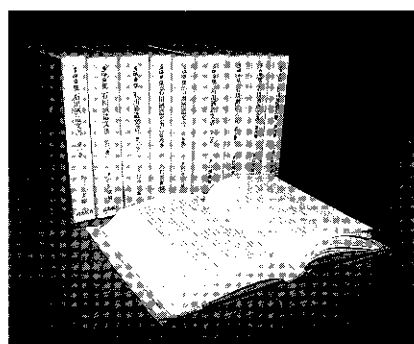
キナーレ賞 永井 泰さん

石川酒造株式会社より、同社の創業約360年の軌跡を収録した「多満自慢 石川酒造文書」をご寄贈いただきました。本書中には、140年にのぼる酒づくりの歴史にも触れており、中でも、新潟県からの蔵人との関りや戦後に松代町からの杜氏として働いていた方たちについても記されています。全9巻からなるこの

多満自慢

石川酒造文書寄贈

文書は、松代町図書館でご覧いただけます。



今年は「国際コメ年」

全世界がコメや食について考える年です。

1月は「食を考える月間」です

みなさん、「食」について考えたことがありますか。農林水産省では、平成15年から毎年1月を「食を考える月間」とし、「食」に関する様々な情報の受発信やイベントを開催するなど、皆さんに広く「食」について考えていただくための取組を進めています。

今月、北陸農政局管内では

- ①食に関するシンポジウム、意見交換会の開催
- ②「消費者の部屋」等での特別展示
- ③食の体験学習の実施
- ④広報誌やメールマガジン等による情報提供などを実施しています。これらの取組については、北陸農政局のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページ<http://www.hokuriku.maff.go.jp>

第17回

越後まつだい冬の陣

3月13日(土)～14日(日)開催

越後まつだい冬の陣版

BSNラジオ公開録音番組

『Oh! 演歌』特別公開録音

とき…3月14日(日)
13:00より14:00まで(予定)
ところ…松代町民グラウンド
雪上特設ステージ



ゲスト
岩本 公水
出演決定!

入場無料

日曜の午後4時25分から放送中の人気ラジオ番組『Oh! 演歌』特別公開録音。

司会はパーソナリティー高坂元己。ゲストはデビュー10周年を迎える岩本公水。

平成16年1月21日にはマキシシングル「冬陽炎」発売。

※放送は平成16年3月21日午後4時25分から



『のっつれ! 松代城』出場戦士 大!大!募集 ～ハワイ遠島を申し付ける～

1. 開催期日: 3月14日(日) 正午出陣
2. 出場資格: 出身国を問わず元服年齢(高校生以上)の身体屈強な男女
3. 参加料: 3,000円
4. 申込方法: 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、越後松代幕府本陣へお申し込みいただくか、ホームページにてお申し込みください。
5. 申込期限: 平成16年2月27日(金) ※先着400名まで申込書を受付しだい、参加振込用紙をお送りします。

「のっつれ! 松代城」参加申込書

郵便番号	〒	—	性別	男・女
連絡先住所	☎ ()			
フリガナ	年齢			
氏名	歳			
仮装部門参加の場合のみ記入				
仮装名称:	仮装者数	名		

☆誓約書 この申込書の記入、提出をもって「のっつれ! 松代城」大会参加中に生じた事故については私(私達)の責任において処理し、主催者に迷惑をお掛けしないことを誓約します。

参加申込・問い合わせ

松代町役場内 越後松代幕府本陣

〒942-1592

新潟県東頸城郡松代町松代3252-1

TEL: 02559-7-2220 FAX: 02559-7-2526

ホームページ <http://www.echigo-matsudai.com/>

主催: 越後松代幕府本陣(越後まつだい冬の陣実行委員会)

短歌

わが納屋に二匹の狸住みつ
けば残飯を盛りそつと置き
やる 本山 祖道
悠々と大きく翼くねらせて
渋味川辺に白鷺一羽

柳 こめ
夕焼けに渋柿赤く照らされ
て鳥の声なき枯野色どる

笠原 トミ
車窓から星の見えねば寝た
のかと母親と話す眠そうな
目で 市川 辰雄
小春日の山路のぼれば遠山
のすでに真白し風頬にしむ
野石 念

人口の動き

男	2,031人	(-4人)
女	2,172人	(-10人)
計	4,203人	(-14人)
世帯数	1,481世帯	(-2世帯)
出生	3人	死亡 7人
転入	1人	転出 11人
(15年12月末日現在)		

各集落の人口と世帯の状況
(平成15年12月末)

集 落	人口	世帯数
松代	1,347	454
小 荒 戸	89	30
太 平	165	85
菅 刈	86	29
田 澤	76	25
小 屋 丸	10	5
池 之 畑	44	12
下 山	38	18
千 年	208	70
池 尻	33	10
会 沢	44	19
清 水	31	15
桐 山	18	10
蓬 平	162	54
東 山	19	7
海 老 伏	38	18
犬 地	253	67
孟 山	70	21
片 桐 山	18	6
滝 澤	29	10
中 子 島	15	4
芋 倉	80	27
田 野	114	39
仙 納	47	15
勘 平	81	23
小 貫	2	1
寺 田	84	24
名 平	20	7
蒲 生	191	83
儀 明	178	60
福 島	65	25
奈 良 立	31	12
室 野	360	131
竹 所	24	10
峠	72	31
木和田原	61	24
合 計	4,203	1,481

蒲生句会

よくめだつ大根の葉や時雨
暗さにも慣れたる土間に藁
を打つ 朴 雪
雪女たしか来たよな戸笛鳴
る 耕 人
黄落の埋め尽くしたる寺小
路 折 人
ストーブを抱えるように手
をかざす 山 路
賀状書く相手の顔は若いま
ま 良 治
ま 山 治
ごうごうと山が鳴り出す雪
催 山
奉納の草鞋一足しぐれをり
耕 山
母の名は片仮名二文字冬の
虹 龍 峰

しづみ俳句会

秋澄むやほくほく線の過ぎ
る音 八千代
故郷の便りこまごま虎落笛
山寺の風にさざめく竹の春
退院し一人占めなる掘炬燵
子等配る学校田の餅二つ 淡 水
茎漬を音立てて食む友 枯 水
山背負ふ疎林ざわめく雪催
ひ 公 鳴
一筋の轍を抱いて山眠る 瀨 舟

2月は相続登記の無料相談月間です

新潟県司法書士会では、毎年2月の1ヶ月間を「相続登記はお済ですか月間」と定め、相続登記についての県内一斉無料相談キャンペーンを実施しています。この機会にお近くの司法書士事務所にお気軽にご相談ください。

新潟県司法書士会 TEL025-228-1589

また、毎週水曜日午後1時30分から4時まで電話による司法書士無料相談も実施していますのでご利用ください。

松代病院からのお知らせ

1月1日から
松代病院内は全面禁煙です

健康増進法の施行により、平成16年1月1日より松代病院建物内での喫煙を全面禁止とさせていただきます。

これまでの喫煙室も廃止となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

戸籍の窓口

(11月1日～11月30日)

幸せ多い人生を(婚姻)

仲村 哲也・小堀 美幸
(儀明 なかにし)

元気な良い子に(出生)

高澤 純聖 剛・利美
(松代・たかさわ)
山賀 桃果 将司・順子
(池之畑・いずみや)

ご冥福を祈ります(死亡)

中嶋 愛子 60歳
(海老 したうしくび)
樋口 アエ 90歳
(松代 おおしもや)
中村 ミナ 81歳
(清水 さたろう)
小堀 芳太郎 85歳
(蓬平 いしほとけ)
斎木 ナカ 86歳
(松代 ぜんぱち)
樋口 栄一 78歳
(松代 わへいじ)
高橋小シマ 95歳
(助平 あらたまや)
西潟キミエ 82歳
(福島 よこや)

町の行事予定（１・２月）

1/21(水)	新潟県中学校スキー大会(19日～) 大寒
22(木)	
23(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
31(土)	
2(月)	すくすく教室 豆まき
3(火)	ほくほくの里 節分:豆まき大会 風しん予防接種 総合センター 13:30～ 全国中学校スキー大会(妙高)
4(水)	立春
5(木)	
6(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
7(土)	東京松代会「ふるさとスキー体験ツアー」松代ファミリースキー場(8日まで)
8(日)	
9(月)	
10(火)	
11(水)	建国記念の日
12(木)	
13(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～
14(土)	
15(日)	
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	雨水
20(金)	心配ごと相談 ディサービスセンター 9:00～

お知らせ

上越公共職業安定所より各種助成金制度のお知らせ

<創業支援制度>

創業にともない非自発的離職者等を雇い入れる事業主に対して、創業経費の1/3～2/3（上限あり）を支援する制度として、

- ・地域雇用受皿事業特別奨励金
- ・受給資格者創業支援助成金
- ・高年齢者等共同就業機会創出助成金 などがありません。

<緊急雇用創出特別奨励金制度>

雇用情勢が悪化した地域において、労使の合意により労働時間の短縮などに伴う賃金の減額を行い、非自発的失業者等を雇い入れる事業主に対する支援する制度です。

各種助成金等のご相談・資料請求は、お近くのハローワークまたは新潟労働局職業対策課(025-234-5927)へお問い合わせください。

(社)妻有福祉会施設長を募集します

職種人員：老人福祉施設または精神保健福祉施設の施設長 2名

受験資格：平成16年4月1日現在満57歳から62歳の者

社会福祉主事任用資格所持者または社会福祉事業に2年以上従事したことがあり採用条件を満たす者

採用条件：自動車運転普通免許を有し、広域市町村行政圏在住で通勤可能な者

試験日：平成16年2月15日(日) 合格発表は2月下旬

試験内容：面接試験

申し込み：1月30日(金)までに申込書類を養護老人ホーム妻有荘に提出してください。受付は土・日曜、祝日を除く午前9時～午後5時

問い合わせ：養護老人ホーム 妻有荘

〒949-8525十日町市幸町 (TEL0257-58-2050)

東頸城地域内の電話番号の市内局番が3ケタに変わります

(平成15年6月号の再掲)

いつから 平成16年2月11日(水)午前2時から

どこが (対象地域) ・松代町 ・安塚町 ・浦川原村 ・大島村 ・松之山町

どのように (役場の番号を例) 今 は 市外局番 市内局番 加入者番号
025-597-2220
奴奈川地区は「8」
これからは 市外局番 市内局番 加入者番号
025-597-2220
市外局番の「59」がはなれて3ケタになり、市内局番は「59」がついて3ケタになります

編集後記

町制施行50周年の今年、いよいよ松代町の名もあと一年余りとなってしまうのか。新市の命名が揺れる。行政名は変わっても歴史はかわらない。広報の役割は、町民のみなさんに行政の活動をお知らせすることは第一ですが、それと平衡して町の歩みを記す、いわば歴史書の役割を担っています。平成元年には町史を、平成7年には広報の縮刷版が町の軌跡として綴られています。そして、今年は町史も広報縮刷版も続編が発行されます。消えることのない町の記録としてお買い求めください。今年もよろしくお願いします。

電話のかけ方は

①市内(対象地域内)通話は
597-2220
今までの電話番号に「59」をつけてかけてください。

②市外通話は今までと変わりありません。
025-597-2220
局番の区切りは変わりますが、電話をかける時の番号はいっしょです。市外局番が同じになる対象地域以外(新潟市、上越市など)へは、今までどおり025からかけてください。

局番変更にもなう準備をお願いします

カレンダー・名刺など印刷物を新番号に

インターネットの接続番号の変更準備

電話機やFAX等に登録してある電話番号の変更準備

(ご注意) 局番変更により現在の電話機が使えなくなることはありません。悪質セールスにご注意ください。問い合わせは、総務省信越総合通信局(TEL026-234-9948)まで。



【休館日】
毎週 月曜日・祝祭日
【開館時間】
毎週 火～金 12:30～17:30
土・日 10:00～17:00

【電話】 7-2615
【ホームページアドレス】
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>
【メールアドレス】
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

◆ 新しい本の紹介 ◆

*** 一般 ***

化生の海 内田 康夫
クレオパトラの夢 恩田 陸
anego 林 真理子
号泣する準備はできていた 江國 香織
宇宙でいちばんあかるい屋根 野中ともそ
仇 花 諸田 玲子
転がしお銀 内館 牧子
不良少年の夢 義家 弘介
幕末入門 中村 彰彦
救急精神病棟 野村 進
「したくない症候群」の男たち 梶原 千遠
雑談力 武藤 清栄
カマキリは大雪を知っていた 酒井與喜夫

*** えほん・じどう ***

あなたのことがだいすき H・ヘネヒテン
とんとんとん!とをたたくのはだあれ?
S・グリンドレー
かいけつゾロリとなその魔法少女 原 ゆたか
やまんばあさん海へ行く 富安 陽子
のら犬ゲンの首輪をはずして! 関 朝之
マライアおばさん D・ジョーンズ
龍のすむ家 K・ダレーシー
チャレンジ!学校心理ゲーム2 さくら美月
そだててあそぼうシリーズ
ピーマンの絵本他 農文協
パンツマンたんじょうのひみつ D・ビルキー

あらすじ

パンツマンは小学四年生の男の子が描いたマンガの主人公。パンツ1枚で悪と戦うヒーローです。ある日、二人がふざけて学校の校長先生に催眠術をかけたら、先生がパンツマンに変身してしまいました…。とても愉快なお話です。

『不良少年の夢』

《本の紹介》

義家 弘介 著

家庭崩壊、高校退学、札付きの不良少年に手を差し伸べてくれたのは、故郷から遠く離れた北の小さな私立高校。そこで出会った教師が彼にくれた『夢』とは…

(光文社)

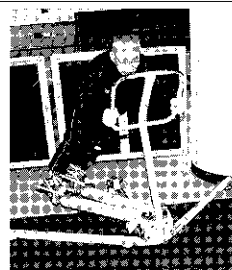
図書館では皆さんからのリクエストを募集しています。読みたい本や図書館に入れてほしい本がありましたら、ぜひ申し込み下さい。今年も、たくさんの方々のご来館をお待ちしています。

おじやまします

夏は色鮮やかな鯉の養殖を趣味とし、冬はスキーを楽しむ。スキー場で急な坂ものともせず、老練な妙技で積極的に挑む姿を目にする人も多いと思う。多くの先輩スキーヤーに勇気を与える、今も現役のスキーヤーだ。「鯉もスキーもおもしろいのお。楽しむことには体力がねーとの」目的があるから身体が自然に動くという。

*

昭和61年から6年間、松代町スキー協会の協会長を務めた富澤さんは上石杯クロスカントリースキー大会の創設にも携わった。上



ひとりトレーニングに励む富沢さん



楽しむことがやりがいを生む
富澤 恭松さん(松代)



上石杯第1回大会(昭和62年)
後列左二番目が上石さん
後列右三番目が富沢さん

石蔵氏の教え子でもあったことから氏と町とのパイプ役を担った。「先生は熱心な人だったの。特に自分には厳しい人で、夏も冬もオリンピックを目指してがんばってたの」昭和7年に五輪出場をはたした上石氏の、一途な精神に多くのことを学んだという。そして、その氏の精神を、町でスキーに励む子供たちに受け継いでほしいという願いがあった。

今年、上石杯クロスカントリースキー大会も18回目を数える。毎年700人もの小・中学生の選手が町内外から集まり熱戦を繰り広げる。

「子どもの一生懸命がなんかいの。まだ負けてらんねーの」コースを走る学生を見ながら、気合一言、富澤さんはまた走り出して行つた。いつまでも額に汗の似合う、壮健な英姿がまぶしい。